

2015 年度事業報告書

(2015 年 5 月 1 日から 2016 年 4 月 30 日まで)

一般社団法人つくろい東京ファンド

当法人の目的を達成するために、関連諸団体・個人と連携をとりつつ、次のとおり事業を実施した。

1. 個室シェルター「つくろいハウス」の運営

- 1) 他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら、住まいのない生活困窮者のための個室シェルター「つくろいハウス」(中野区、定員 7 名)を年間を通して運営した。
- 2) 「つくろいハウス」退所者のための借り上げ住居(中野区)において、入居者 1 名を継続して受け入れた。
- 3) 必要に応じて、「つくろいハウス」入居者及び退所者への安否確認、福祉・住宅等の相談及び食料支援を実施し、他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら入居者や退所者が安定した生活をおくれるための支援を行なった。

2. ステップハウス「ふらっとハウス」の開設及び運営

2015 年 7 月、新宿区内の一軒家を借り上げて、ステップハウス「ふらっとハウス」(定員 2 名)を開設した。認定 NPO 法人ビッグイシュー基金との提携のもと、ビッグイシュー販売者など住まいのない生活困窮者の受け入れをおこなった。

3. シェアハウス「ハナミズキの家」の開設及び運営

2015 年 10 月、墨田区内の一軒家を借り上げて、若者向けシェアハウス「ハナミズキの家」(定員 3 名)を開設し、東京の住宅費の高さに悩む若者の受け入れをおこなった。

4. 「ことといこども食堂」の開設及び運営

2016 年 3 月、「ハナミズキの家」のキッチンスペースを活用した「ことといこども食堂」を開設した。地域の子どもたちの食事と交流の場として、月 2 回、開催を続けている。

5. 個室シェルター「ちはやハウス」の開設及び運営

2016 年 3 月、豊島区内のアパートの 2 部屋を借り上げて、「ちはやハウス」(定員 2 名)を開設し、NPO 法人 TENOHASI との連携のもと、住まいのない生活困窮者の受け入れをおこなった。

6. ニュースサイト「マチバリー」の開設・運営及び WEB 中間支援

- 1) 2015 年 7 月、ニュースサイト「マチバリー」を開設した。「マチバリー」は、「生きる”を支える人を応援するメディア」というコンセプトのもと、年間を通して、生活困窮者支援に関わる人のインタビュー記事などを配信している。

2) 「マチバリー」開設に伴い、首都圏内において様々な形で生活困窮者支援に関わる個人・団体が、自身の活動をより良く発信できるよう、そのウェブサイトの改修や構築・ウェブサービス導入のお手伝いやコンテンツ提供をおこなう「WEB 中間支援」を開始し、年間を通して実施した。

7. ファンドレイジング

- 1) 当法人の事業資金を調達するため、クラウドファンディングなどを通じた寄付金募集を実施した。
- 2) 当法人のキャラクターグッズを販売し、資金調達の一助とした。